



キタセツはこの町のご家族が幸せを感じるリフォームのお手伝いをいたします。

躯体の存在感を活かし シックで上質な空間が完成。

今回のご依頼は大田区にお住まいのM様。
 築40年のメゾネットタイプのマンションで
 こだわりいっぱいのリフォームが完成しました。

■詳しい内容はホームページをご覧ください

デザイン担当
 中村



新しいご家族を迎えるにあたり、中古マンションを購入し全面リフォームを検討されたM様。以前、同じマンションにある奥様のご両親のお住まいをキタセツがリフォームしたご縁でご相談いただきました。他社にも相談された中、「予算内で収まり、提案が良く話しやすかった」とご依頼くださいました。「夏は暑く冬は寒い」という問題を解消するため、熱の出

入りが多い玄関周りや大きな窓側の壁に断熱工事を行い、廊下が暗かったことから、一部の壁を腰壁にして明るさと開放感を出しました。建築関連のお仕事に携わるM様から、インテリアについて「スタイリッシュ、かつナチュラルなイメージをあえて手を加えていない感じ」とご希望があり、デザイン担当の中村と「男っぽさやインダストリアル」なイメージを共有。天井のクロスを剥がし、白壁にブルグリーンのアクセントクロスを組み合わせ、イメージにぴったりの洗練された空間を作り上げました。経年とともに深みを増した床はそのまま活



間接照明が落ち着いた空間を演出



▲リビングに造作したワークスペース

デザインと機能性を備えたキッチン▶



大田区にお住まいのK様。常務・遠藤祐司とのお付き合いは20年近くになります。「自宅の全面改修を」依頼くださったのは15年ほど前、3人のお子様が集立ち「夫婦2人暮らしになるのがきっかけでした。大がかりなリフォームだったため他のリフォーム会社にも相談したのですが、「地元密着というポリシーが伝わってきたし、担当の遠藤さんの人柄や対応の良さも決め手になりました。今では何かあったらキタセツ！です」とご主人。器具の交換や修



掃き出し窓から庭への段差を解消



繕工事、定期的にハウスクリーニングもご利用いただき、マメに手入れを、愛着をこめて暮らされている素敵なお住まいです。現在、常務の遠藤から引き継いで担当しているのが遠藤泰彦。今年の冬には、洗面台やトイレの交換に併せて、リビングから庭へ降りる手すり付きステップ台を提案しました。奥様は「今まで庭に出るのが億劫でしたが、気軽に降りられるようになって良かったです。少し前まで、将来は施設に入るのかなど思っていたけれど、やはり『終のすみか』としてこの家で過ごしたい」としみじみ感じます。「ありがとうございます。私達は『リフォームが終わったら関係が終わり』とは考えていません。住み始めてから出てくる問題は必ずありますから、それを少しずつ解決してお家がどんどん良くなります。」と笑顔で語ります。

暮らしに季節の花々を。

季節のお花を使ってアレンジする「暮らしを彩る花かんむり」を開催しています。ファッションだけでなく、テーブル飾りや壁掛けなどインテリアに取り入れるのも素敵です。初めての方でも気軽に参加いただけます。お花のある生活、始めてみませんか？



カルチャー教室

FIKAしませんか？

フィンランドの「FIKA」を学ぼう！
 ～北欧に学ぶ、幸せな暮らし方～

北欧が大好きなデザイナー・廣瀬雅子と、インテリアやライフスタイルについて語り合うお茶会「FIKA」に参加しませんか？第3回目のテーマは「収納」です。美味しいスイーツとコーヒーを用意してお待ちしています。



モアフォーム チームリーダー
 廣瀬雅子



＜日程と会場＞
 ■2020年7月18日(土) 13:30~15:00 (ティータイム含む) ■キタセツ1階モアフォーム・サロン
 ■定員8名 ■お申込み先: 0120-81-4415 (要予約)
 ※お申込み締切は2020年7月14日(火)
 参加費 500円 (フィンランドのスイーツ・コーヒー&お土産付き)

Tポイントサービス 終了のお知らせ

工事代金に応じて付与させていたいただいていたTポイントサービスは、2020年6月末日をもちまして終了とさせていただきます。長年ご利用いただき、誠にありがとうございました。

キタセツ・6つの取り組み

*①～④は全て2019年以前に撮影した写真です。

① キタセツランチ

2016年から続けている名物キタセツランチ。社長が作るランチは野菜たっぷり、栄養バランスも良くおいしい！



おいしい無農薬野菜を仕入れ
ています。

この春キタセツは、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)」に認定されました。健康経営とは、社員の健康管理を経営課題として会社が積極的にサポートし、社員が健康で元気に働く職場を作る経営スタイルのことです。キタセツでは2019年の春から様々な取り組みを続けてまいりました。社員が健康で元気に働き続

けられる環境を作ることが「より良い提案や工事」の基盤となり、お客様とご家族の幸せな暮らしにつながります。現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、社会の状況は刻一刻と変わっています。お客様が安心してキタセツをご利用いただけるよう社内環境や業務の進め方に細心の注意を払いながら、これからも健康経営に取り組みでまいります。

健康経営優良法人に認定されました!!

④ 健康ツールの設置

体に優しい R.O. ピュアウォーターの浄水器を設置。体調管理ができるよう血圧計と体重計も常備しています。



③ 体操指導

元スポーツジムのインストラクター・木伏(外装チームリーダー)から、デスクで手軽にできる体操などを教わりました。



毎日15分程度
の体操を
実践し
ます。

② 定期的な整体

プロの整体師の方をお招きして、週に1度のリフレッシュタイム。体調の変化に気が付く機会にもなります。



現場で日々勉強させていただき中、お家によって構造や間取り、ご家族の状況など全て異なるのだと実感しています。お客様のご要望をしっかりと伺い、1邸1邸に全力で取り組みます！



黒田真穂
営業部 内装チーム

■趣味/ダンス、歌うこと

2020年1月に入社した社員をご紹介します。

新入社員紹介



⑤ 完全週休2日制

週休2日制を実施し、時間と気持ちにゆとりが生まれ、家族と過ごす時間も増えました。その分集中力を高め仕事に向き合えます。

⑥ 健康管理アプリ導入

社員全員のコンディションが可視化できるアプリを導入。スマートフォンを使って心拍数を測り、ストレス状態を解析します。



代表 上諏訪正俊さん(右)/出川逸樹さん(左)
業種：エクステリア販売・施工

キタセツの頼れるパートナー
Hello!!
協力会社さん



キタセツのリフォームに欠かせない、協力会社をご紹介します

上諏訪さんの真剣さが伝わってきます



上諏訪さんの真剣さが伝わってきます

「できない」とは
言いません。



テラス屋根を設置する上諏訪さん

「例えばバルコニーに屋根を取り付ける時、洗濯物を干したいなら高さは高すぎても低すぎてもいけない。ちょうど良い高さがあるんですよ。最近の工事では、バルコニー設置の打合せ中にご家族の意見が異なっていたことがあり、こちらから折衷案を提案し採用していただきました。完成後に、お客様から『お兄ちゃんに頼んでよかった!』と言われて励みになりましたね」と嬉しそうに語る上諏訪さん。キタセツにとっても大変ありがたいお話です。建物の状況によっては、予定していた商品が合わない場合もあります。そういう時も「工事ができない」と断らず、補強材などで工夫し、

常にお客様のご要望に応えようとしてくださる頼もしいお

難しい工事を相談しても決して「できない」と言わないお2人なので、困った時にはすぐに電話します。一緒に考え、提案してくれ、それが良い工事に繋がっているのが評判も良いですね。



営業部副部長・伴野(左)

心がけていることは?

大変な現場の時でも落ち着いて仕事に向き合えるよう、下請け会社さんを含めコミュニケーションには気を配っています。

お仕事のやりがいとは?

お客様に笑顔になってもらえること。そのためにお客様とキタセツの担当者さんと三者でしっかり打合せをし、お互いに工事の目的を共有しておくことが大切です。

忙中
雑感
いまこそ!
代表 北川拓

今から百年前に起きたインフルエンザのパンデミック、俗に言うスペイン風邪では、世界中で五億人が感染しその死者数は1700万人から5000万人ともいわれられています。百年に一度の災難になるだろう新型コロナウイルスに対して、世界中がひとつになって打ち勝たねばなりません。私たち人間社会は、長い歴史において多くの災いを乗り越えてきた中で、再び現在の危機を迎えています。ピンチをチャンスに、前向きに未来を見つめ直す時かもしれません。「緊急事態宣言」を受け、東京都は広い範囲での自粛を求めています。外出もままならなくなった今こそ、家族みんなが揃った時、快適に楽しく過ごせる「我が家のあり方」を見つめ直す良い機会ではないでしょうか。住まいのことで緊急のお困りごにはキタセツは対応したいと考えています。一部のスタッフはテレワークとし、社内の衛生面には最大限の配慮を行い、可能な限りお客様との接触を避けながら仕事をさせて頂きます。引き続きお客様からのご相談には24時間対応してまいります。※コラムの内容は四月十五日現在のものであります。



遠藤常務の
お悩み相談室



社員の悩みを取り上げて常務・遠藤祐司がアドバイスを送るコーナー。お客様への親身で明るい対応が好評な清水からの相談です。

Q 社内では気が付くと周囲に年下が多くなりました。自分の子供達と同世代のスタッフが立派に独り立ちできるところをサポートする秘訣を教えてください。



(リフォームサロン受付・入社14年目・清水久恵)

A 若い人達が成長するためには少しずつスキルの高い仕事に取り組みしていく必要があります。その時に先立つ、「失敗したらどうしよう」「叱られたくない」という不安な気持ちを取り除いてあげたいと私は考えています。何かあった時、助けてくれる「安心感」↓助けてくれて解決できた「安堵感」↓次は迷惑をかけないぞという「自立心」と導くように心がけています。具体的には、電話での会話や机上で考えごとをしている様子を見ながら、早めに声がけをしています。

ベテランになると、「見守り、育てる」ことも大切な役割の一つです。私自身、いつも相談され続ける存在でありたいと思っています。